

平成22年度 下水道工事現場の

イメージアップコンクール

平成22年度下水道工事現場のイメージアップコンクールには、市内11現場11社からの参加申込がありました。コンクール参加の下水道工事現場では、お客さまへの情報提供や現場及びその周辺の環境改善を図ることを目的に、広報板の設置やわかりやすいお知らせ回覧文書の配布、現場見学会、現場や周辺の環境対策などに取り組んでいただきました。審査の結果、最優秀賞・優秀賞・特別賞が決定しました。



最優秀賞

(株)マット

南神宮寺処理分区枝線管きよ築造工事 (第1工区)及び(その1)

- ①管轄の警察及び関係教育機関との協議を行い、現場内を子供たちの一時避難、保護場所として活用した。
- ②工事広報看板の代理人をイラスト化し、お年寄りやお子さんにも見てもらえるように作成した。



優秀賞

(株)中村組

伝馬処理分区栄幹線管渠改築工事 (第4工区)

- ①工事広報板に挿絵や写真を多く使い、文章を読まなくても工事の目的や内容がわかるようにした。
- ②安全対策としてトークナビを設置し、音声による注意喚起を呼びかけた。



優秀賞

風早建設(株)

中郡大島幹線及び馬込第10処理分区枝線管きよ築造工事 (第6工区)及び(その1)

- ①工事広報看板は社内でアイデアを募り、オリジナルで作成した。
- ②「エコドライブ実施中」ステッカーを貼り、エコドライブを喚起した。

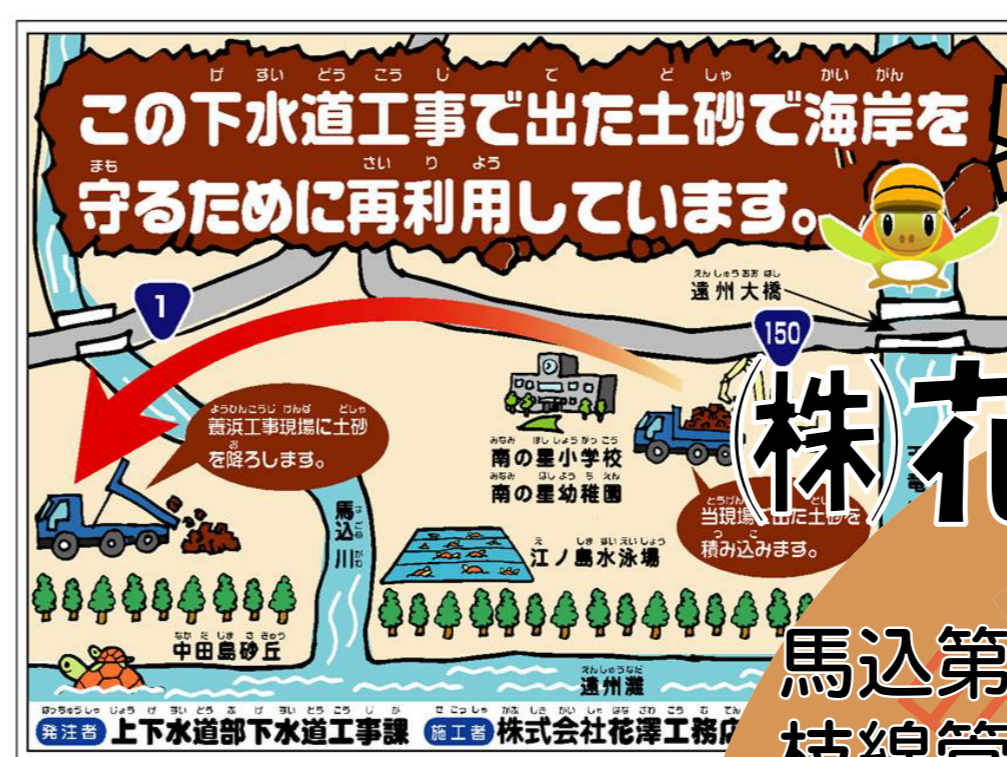


特別賞

(有)市川建設

馬込第1-1処理分区 枝線管きよ築造工事 (第7工区)

- ①広告板にマスコットキャラクター【スイスイ】を使用し地域の方の目に止まるように配慮した。
- ②残管で制作したプランターに汚泥から出た活性汚泥肥料を使用した。



特別賞

株花澤工務店

馬込第21処理分区 枝線管きよ築造工事 (第4工区)

- ①現場に【熱中症対策キット】を常備し、一般の方も利用出来るように掲示板に明記した。下水道事業の理解を図った。
- ②掘削土を中田島砂丘の侵食被害に対する養浜工事に流用し、環境対策に貢献した。

